

IASシンポジウムシリーズ第56回

環境社会リスクの視点から考える

環境汚染 対応

環境研究総合推進費1-1904
災害・事故に起因する化学物質流出のシナリオ構築と防災減災戦略

第2回 研究進捗報告会

無料公開
シンポジウム
2021

11/5
2021. **金**

13:30-16:45

オンライン開催

(参加方法は申し込み後にご案内します)

プログラム

司会：笠井 尚哉 環境情報研究院 准教授

- 13:30 オンライン開催に関する連絡
- 13:35 開催挨拶 澁谷 忠弘 ユニット主任研究者 先端科学高等研究院 教授
- 13:40 防災減災戦略ガイドラインの作成と適用 中山 稔 IAS 助教
- 14:25 自然災害の防災減災戦略策定に向けた市民、事業者、行政の役割
稗貫 峻一 IAS 客員准教授 (一般財団法人 電力中央研究所)
- ～休憩：10分～
- 15:20 特別講演：災害・事故に起因する化学物質リスク評価・管理手法の体系的構築
鈴木 規之 (国立環境研究所)
浅見 真理 (国立保健医療科学院)
井ノ上 哲志 (掘場製作所)
中村 智 (大阪府立環境農林水産総合研究所)
- 16:05 質疑応答
- 16:40 閉会挨拶 三宅 淳巳 理事・副学長(兼) 先端科学高等研究院 教授

<https://ias.ynu.ac.jp>



IASのWebサイトまたは
QRコードから
お願いいたします

参加申し込みフォームにてお申し込みください。
開催日前に参加方法等をお知らせいたします。

IAS Webサイトトップページ：NEWS & TOPICS「シンポジウム・セミナー」>第56回シンポジウムを選択>申込方法のリンク から必要事項をご記入の上、送信してください。

昨今、激甚化する自然災害を発端とした化学物質の漏洩・流出事故が発生しています。このような事故は世界各国で発生し、自然災害起因の産業事故(通称、NATECH)として研究が進んでおり、今後益々重要な研究課題になることが見込まれます。

本研究は、石油コンビナートを対象に災害・事故に起因する化学物質流出による環境影響を社会総リスクの観点から分析し、実効性のある防災減災戦略ガイドラインを作成することを目的としています。本研究は、2019年度から3年間の研究プロジェクトであり、最終年度となる2021年度に3回の公開シンポジウムを企画します。公開シンポジウム開催により、本研究の進捗及び成果を広く公開し、国民との意見交換を通じた研究内容の改善と研究成果の普及、ガイドラインの社会実装を試みます。

第2回研究進捗報告会では、環境社会リスクの視点から環境汚染対応の具体的な事例を紹介します。また、環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-17「災害・事故に起因する化学物質リスク評価・管理手法の体系的構築に関する研究」の成果を概説し、互いの研究内容の連携や発展を図ります。